

授業概要

幼稚園、保育所、認定こども園において保育者が保育をどのように展開して行くのか、その基本的な方法や考え方について理解する。そのために、子どもの理解を深める。具体的には子どもの持つ主体的な特性を知り、乳幼児期の発達の特徴について学ぶ。また、乳幼児にとっての保育における環境構成の在り方、遊びのもつ発達の意味などについて学ぶ。さらに、園と関わりを持つ家庭（特に父親と母親）・地域・小学校などとの連携に基づく総合的な保育の取り組みについての理解を深める。

授業計画

第1回	幼稚園、保育園での子どもの生活の様子を知ろう
第2回	乳幼児期の発達の特徴と発達の変化：誕生から乳幼児期まで
第3回	保育形態の種類とその意味
第4回	園内の環境構成について
第5回	幼児期の遊びの特徴と発達の意義
第6回	遊びと子どもの成長(1)：0歳児 へのかかわり
第7回	遊びと子どもの成長(2)：1歳児～2歳児 へのかかわり
第8回	遊びと子どもの成長(3)：3歳児～5歳児 へのかかわり
第9回	家庭との連携(1)：その必要性 小1プロブレムの視点から
第10回	家庭との連携(2)：父親の子育て参加と子どもの発達への影響
第11回	家庭との連携(3)：父親と母親の夫婦関係と家庭環境に基づく子どもの発達への影響
第12回	地域・小学校との連携と保育
第13回	園における指導計画について(1)：①教育課程と指導計画の関係 ②作成上の留意点
第14回	園における指導計画について(2)：一日の生活の指導案作成
第15回	保育における情報機器の利用と効果
第16回	筆記試験

到達目標

- ① 園内環境を通して行われる保育の実態と特質について理解することができる。
- ② 子どもの主体的な生活についての理解を深め、子どもの成長を伸ばす保育方法の基本的な考え方について理解する。
- ③ 関係機関、保育者同士、保護者との連携を含めた総合的な保育の在り方について理解する。
- ④ 実習において指導計画(一日の生活の流れを予想した指導計画)を作成することができる。
- ⑤ 保育に関連する情報機器の有効な利用方法について理解する。

履修上の注意

- ① 私語などは慎むこと。
- ② 毎回出席を取るので休まないこと。
- ③ 授業には積極的に参加すること。授業中は質問していくので積極的に発言するように心掛けること。
- ④ 内容によって、授業の中で小テストを行う。

予習復習

各回の授業については事前に目を通し調べておくこと。また、各授業の中で分からないことがある場合はそのまましておかず、質問して理解を図るように努めること。授業の内容によっては、予習・復習をかねてレポートを課すことがある。

評価方法

筆記試験 50%、レポート 30%、受講態度 20%に基づき評価する。

テキスト

- ① 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説書(平成29年版)」「幼稚園教育指導料第1集 指導計画の作成と保育の展開」フレーベル館。
- ② 授業は資料の配付、DVDによる理解を図りながら進めるが、基本的にはテキストに基づいて進める。また、関連する図書は適宜紹介する。